

インテリア造作材

幕板付き化粧用下地壁

施工説明書

必ずお読みください

NANKAI PLYWOOD 南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2・3チーム	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
	中部営業チーム	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
	中四国営業チーム	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
	九州営業チーム	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2・3チーム	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669

施工される方へ







施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前のご確認をお願いします。

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工・取扱を行った場合については当社での保証はいたしかねますのでご注意ください。

施工上のご注意

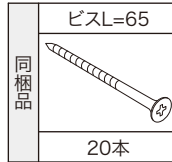
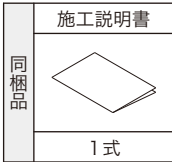
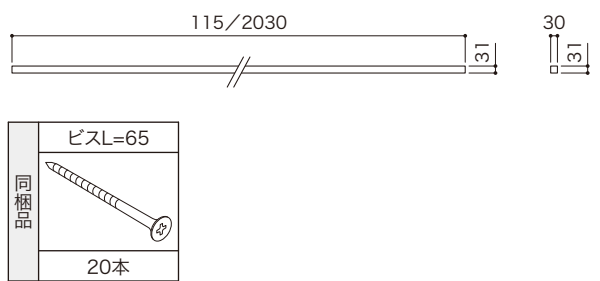
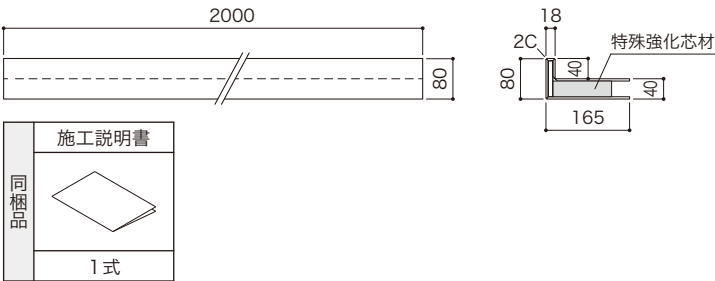
 <p>屋外禁止 内装専用の製品です。屋外での使用はできません。</p>	 <p>キズ注意 施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。</p>	 <p>水・湿気禁止 屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。</p>	 <p>火気厳禁 木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけてください。</p>	 <p>反り・ねじれ厳禁 躯体に使用する木材は乾燥材で垂直な物を選んでご使用ください。</p>	 <p>溶剤厳禁 溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。</p>
---	--	--	--	--	---

製品図面・パーツセット明細

寸法単位:mm

本体 ※2本入

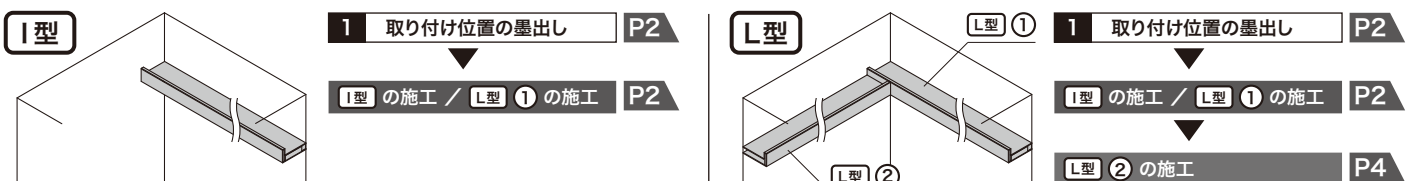
幕板付き化粧用下地壁受桟セット ※受桟L=115:4本入/受桟L=2030:2本入



施工前の確認事項

- 本体と受桟は接着剤固定となります。
 - ①接着剤は床貼用のウレタン系または変成シリコン系接着剤(現場調達)をご使用ください。酢酸ビニル樹脂系不可。周辺に接着剤がつかないよう養生をしっかりと行ってください。塗布量目安:ノズル穴径6mmで1列
 - ②硬化まで最低24時間必要なため、ビスなどで仮固定、水平を保持して養生してください。
- 施工はクロス貼り前に行なってください。
- 受桟および本体取付位置には12mm厚以上の下地合板による補強が必要です。
- 受桟への差込施工のため、両壁納めの場合は手前スペースに本体奥行の2倍の空間が必要になります。設計・施工の順番にご注意ください。
- 照明を取り付ける場合は必ず各種機器施工条件に従って取り付けてください。

●間口寸法や納め方により、施工手順が異なります。以下の手順で施工してください。

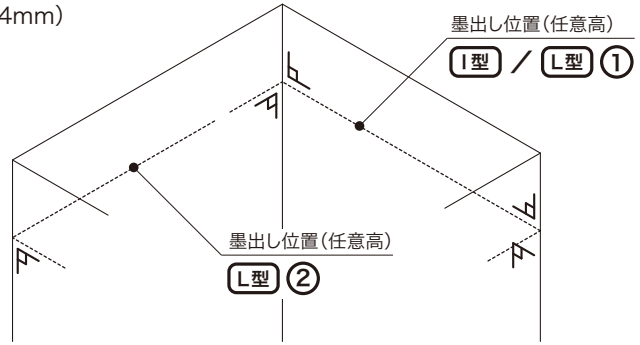
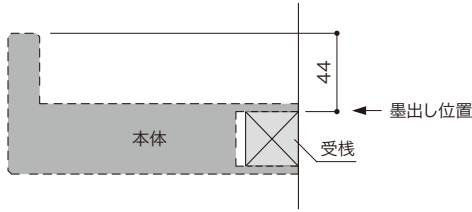


※ U型の場合は、L型の応用で施工してください。

1 取り付け位置の墨出し

任意の高さで受棧取り付け位置を墨出ししてください。(本体上面位置-44mm)

[断面図]

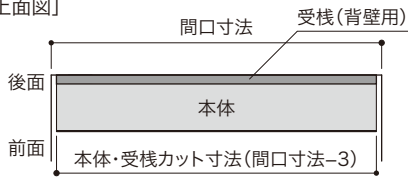


I型の施工 / L型 ①の施工

納まりについて 間口に対する、本体・受棧の寸法は下記の通りです。これを参考に各寸法を算出し、施工を進めてください。

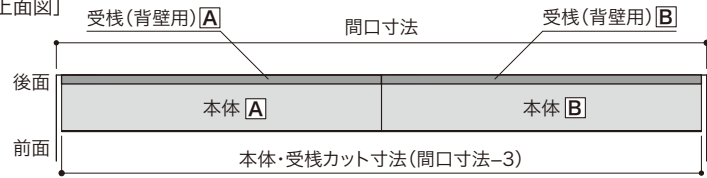
本体1本のみを施工する場合

[上面図]



本体を連結して施工する場合

[上面図]



※受棧と本体の連結部が重なるよう、同寸法で算出してください。(例: 本体 A 寸法 = 受棧 A 寸法)

2 受棧の取り付け

1 受棧(背壁用)の作成

本体1本のみを施工する場合

受棧L=2030を[間口寸法-3mm]でカットし、受棧(背壁用)を作成します。
(詳細は上記 **納まりについて** 参照)

本体を連結して施工する場合

受棧L=2030を[受棧の合計寸法(A+B)=間口寸法-3mm]となるようにカットし、受棧(背壁用)を作成します。
(詳細は上記 **納まりについて** 参照)

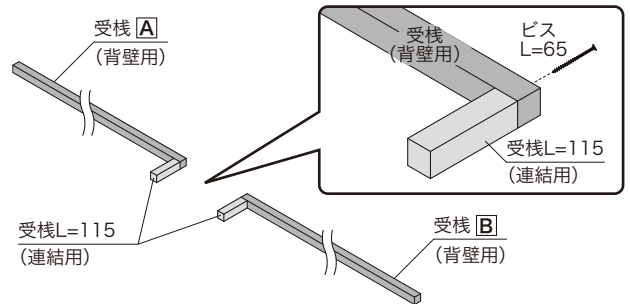
2 連結施工用のL字受棧の作成 (本体を連結して施工する場合 のみ)

受棧(背壁用)と受棧L=115をビスL=65で固定しL字受棧を作成してください。

下穴加工(φ3mm)が必要です。

注意

受棧の取り付け向きにご注意ください。

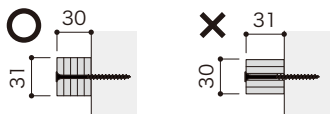


3 背壁へ受棧(背壁用)の取り付け

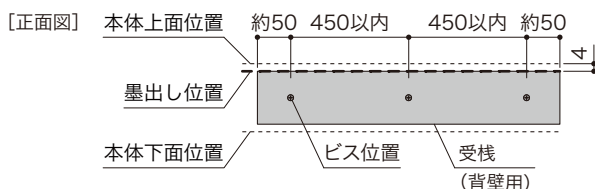
受棧(背壁用)を同梱のビスL=65で両端は約50mmの位置に、その他は450mmピッチ以内で固定してください。 (下穴加工(φ3mm)が必要です。)

注意

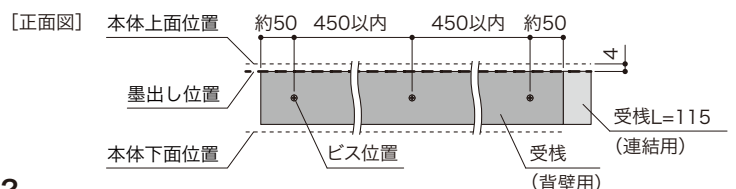
受棧の取り付け向きにご注意ください。



本体1本のみを施工する場合

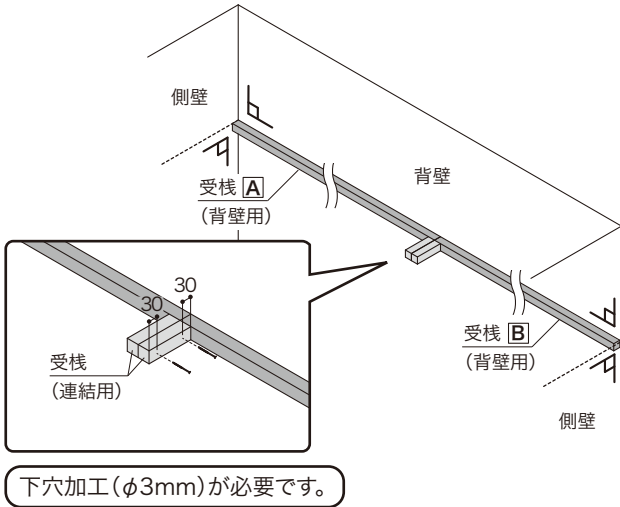


本体を連結して施工する場合



4 L字受桟を連結 (本体を連結して施工する場合) のみ

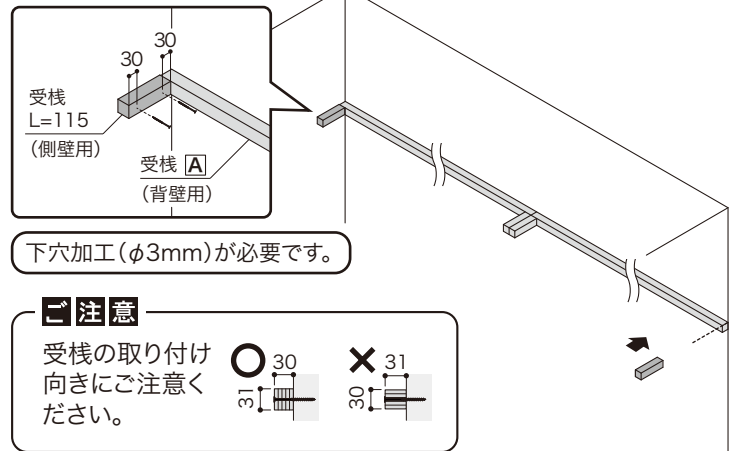
受桟L=115(連結用)をビスL=65で両端から約30mmの位置に打ち、L字受桟を連結してください。



5 側壁へ受桟L=115の取り付け

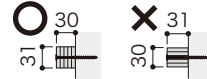
(本体1本のみを施工する場合)、(本体を連結して施工する場合) 共通

受桟L=115を受桟(背壁用)に突き合わせ、同梱のビスL=65で両端から約30mmの位置を固定してください。

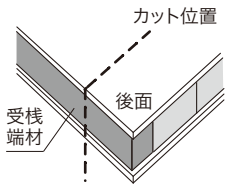


注意

受桟の取り付け向きにご注意ください。



3 本体のカット



注意

必ず受桟端材を取り付け、カットしてください。空の状態ではカットすると正確な寸法でカットできないことがあります。

本体1本のみを施工する場合

本体を[間口寸法-3mm]でカットしてください。(詳細は **納まりについて P2** 参照)

本体を連結して施工する場合

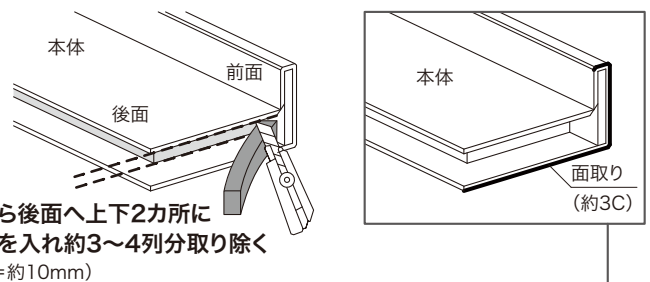
本体を[本体の合計寸法 (A+B) = 間口寸法-3mm]となるようにカットしてください。(詳細は **納まりについて P2** 参照)

4 特殊強化芯材の取り除き

受桟納まり部を作るため、特殊強化芯材を1列分毎に前面から後面方向・上下2カ所にカッターで切込みを入れ、受桟寸法分の約3~4列を取り除いてください。

注意

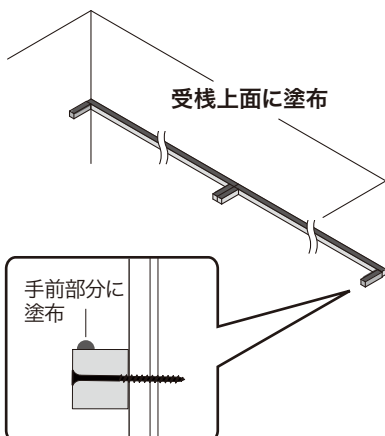
- 受桟端材を当て、サイズを確認しながら行なってください。取り除き面はカッター等で削り平滑にしてください。
- 本体の連結部木口は、取り付け前に面取り(約3C)をしてください。



5 本体の取り付け

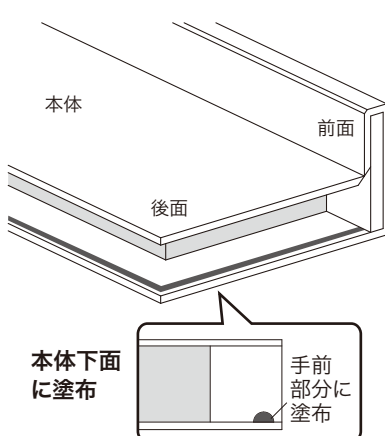
1 受桟部 接着剤塗布

受桟上面部分・手前側に接着剤(現場調達)を塗布します。



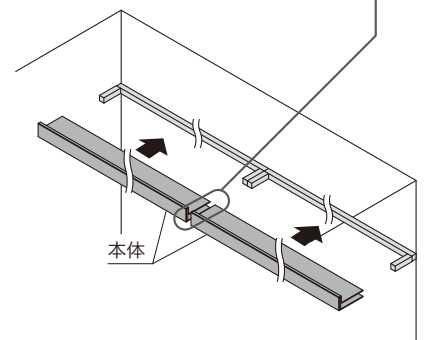
2 本体部 接着剤塗布

本体下面部分・手前側に接着剤(現場調達)を塗布します。



3 本体取り付け 完成

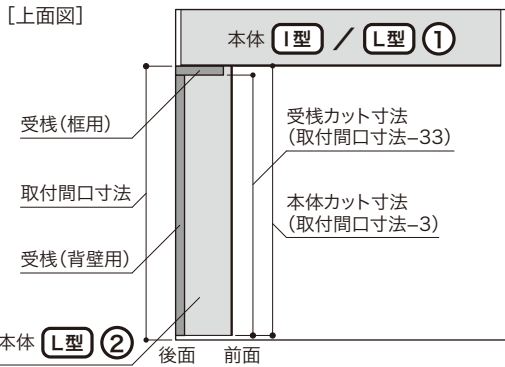
受桟にそって本体を差し込み、はみ出した接着剤をウエスなどできれいに拭き取ってください。水平器で水平確認を行ないビスなどで仮固定し、最低24時間静置・養生してください。



L型 ② の施工

納まりについて

取り付け間口に対する、本体・受栈の寸法は下記の通りです。これを参考に各寸法を算出し、施工を進めてください。



1 受栈の取り付け

1 受栈(框用)の作成

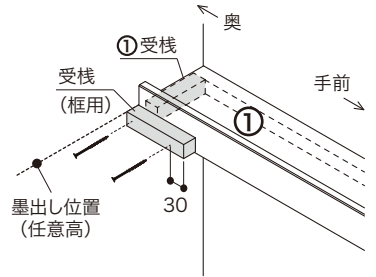
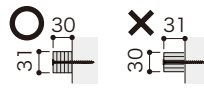
受栈L=2030を長さ145mmにカットして受栈(框用)を作成してください。

2 ① 本体へ受栈(框用)の取り付け

受栈(框用)を同梱のビスL=65で手前側は端から30mmの位置に、奥側は①の受栈に向かってビス打ちしてください。確実に取り付けるため、接着剤(現場調達)の併用をおすすめします。

注意

受栈の取り付け向きにご注意ください。



下穴加工(φ3mm)が必要です。

3 壁面へ受栈(背壁用)の取り付け

受栈L=2030を[取付間口寸法-33mm]でカットし、受栈(背壁用)を作成します。(詳細は上記 **納まりについて** 参照)

受栈(背壁用)を受栈(框用)に突き合わせ、同梱のビスL=65で両端から約50mmの位置に、その他は450mmピッチ以内で固定してください。確実に取り付けるため、接着剤(現場調達)の併用をおすすめします。

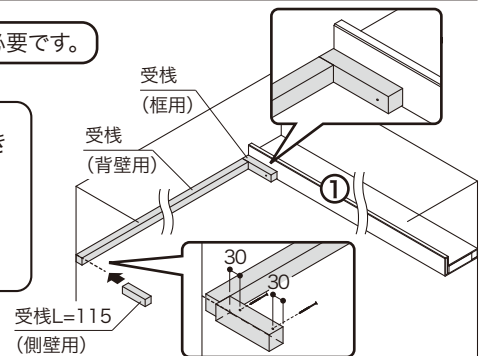
4 側面へ受栈L=115の取り付け

受栈L=115を受栈(背壁用)に突き合わせ、同梱のビスL=65で両端から約30mmの位置を固定してください。

下穴加工(φ3mm)が必要です。

注意

受栈の取り付け向きにご注意ください。

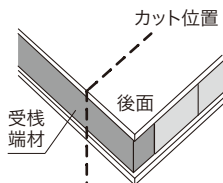


2 本体のカット

本体を[取付間口寸法-3mm]でカットしてください。(詳細は上記 **納まりについて** 参照)

注意

必ず受栈端材を取り付け、カットしてください。空の状態では正確な寸法でカットできないことがあります。



3 特殊強化芯材の取り除き

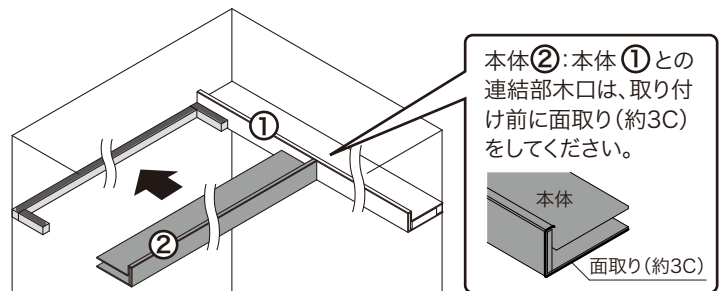
4 本体の取り付け

- 1 受栈部 接着剤塗布
- 2 本体部 接着剤塗布
- 3 本体取り付け 完成

施工の詳細:

- ① L型 の施工 / L型 ① の施工
- 4 特殊強化芯材の取り除き
- 5 本体の取り付け

P3 参照



本体②:本体①との連結部木口は、取り付け前に面取り(約3C)をしてください。

建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級

製品名: インテリア造作材

幕板付き化粧用下地壁

製造者名称: 南海プライウッド(株)

発散区分: F☆☆☆☆

ロット番号: 製品梱包に記載

- 構成材料 -

部材・部位	材料名	表示区分	認定・登録種類	認定・登録番号	認定登録機関
幕板付き化粧用下地壁	ベアコア・ペーパーコア芯 VRシート貼り MDF	F☆☆☆☆	自主表示登録	K-003097	(一社)日本建材・住宅設備産業協会

注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。問合せ先: 品質管理チーム 087-894-8025